KOTO

KRB-310N
《吊り下げ式》ラジエーターエアーブリーダー

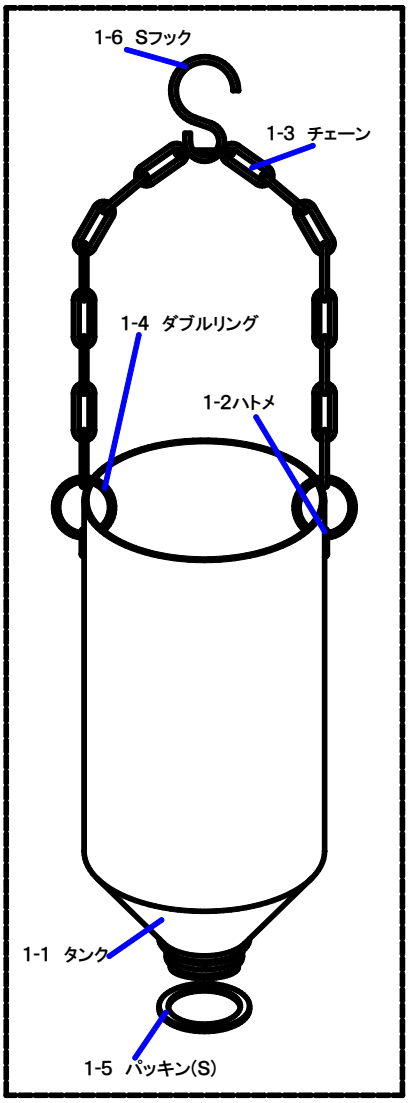
取扱説明書

この度は KOTO 製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございます。

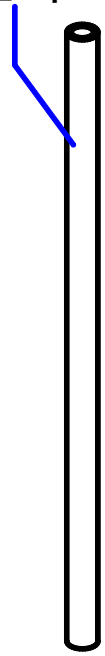
使用前に必ず本取扱説明書を必読して頂きご使用下さい。

ー各部名称ー

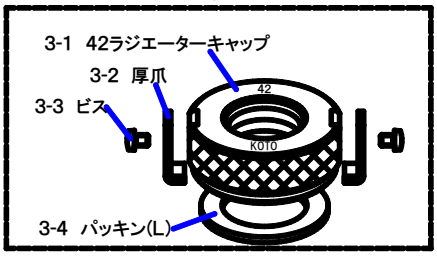
1 タンクASSY



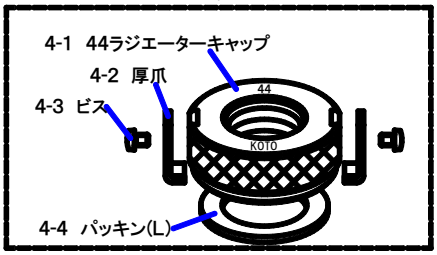
2 ホース



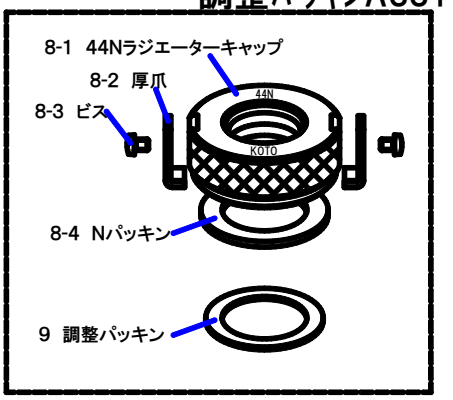
3 42ラジエーター キャップASSY



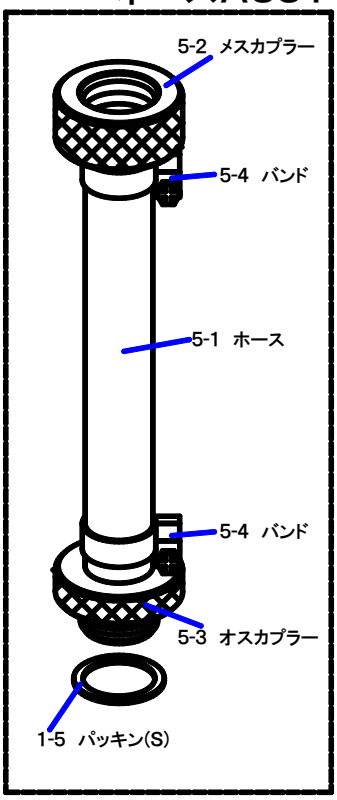
4 44ラジエーター キャップASSY



7 44Nﾗｼﾞｴｰﾀｰｷｬｯﾌﾟ& 調整ﾊﾟｯｷﾝASSY



5 ジョイント ホースASSY



※上記セット内容の一部は部品で供給してない物も含んでおります。

－適応車種－

本製品は軽自動車～普通乗用車迄対応です。

一部車種のラジエーターにキャップが付いていないタイプのキャップには対応しておりません。

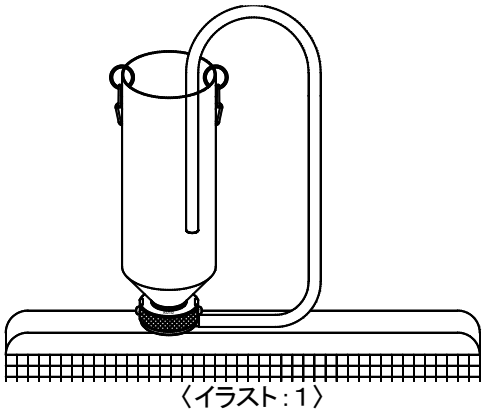
－使用方法－

車輌のラジエーターキャップ上面にボンネット等の障害物やキャップ取り付け周辺の障害物に『1．タンク』等が干渉する場合は、『5．ジョイントホースASSY』を使用してご使用下さい。〈写真：1参照〉

それ以外の場合は『ラジエーターキャップASSY』に直接『1．タンク』を取り付けてご使用下さい。〈イラスト：1参照〉

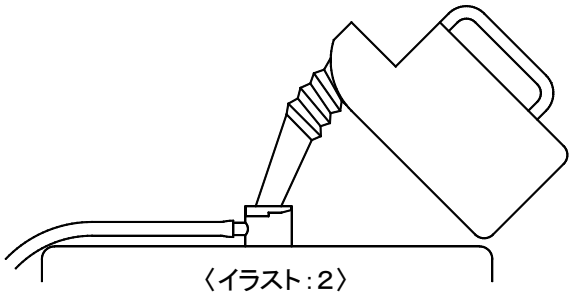


〈写真：1〉



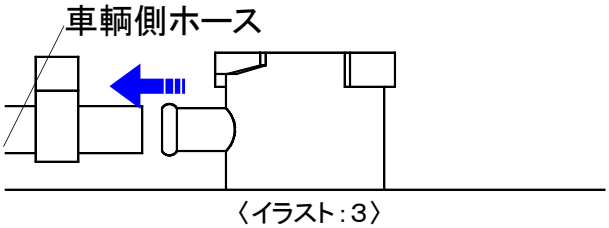
〈イラスト：1〉

① 通常作業通りにラジエーター液を交換・注入します。〈イラスト：2参照〉

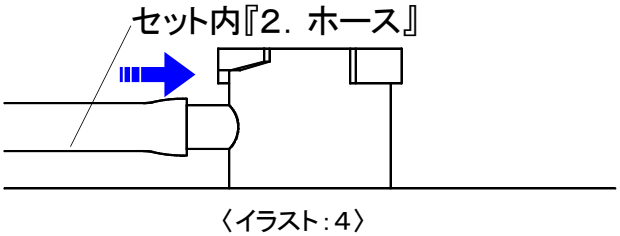


〈イラスト：2〉

② ラジエーター口からリザーバータンクへ接続されているホースを外しセット内の『2．ホース』を取り付けます。〈イラスト：3・4参照〉



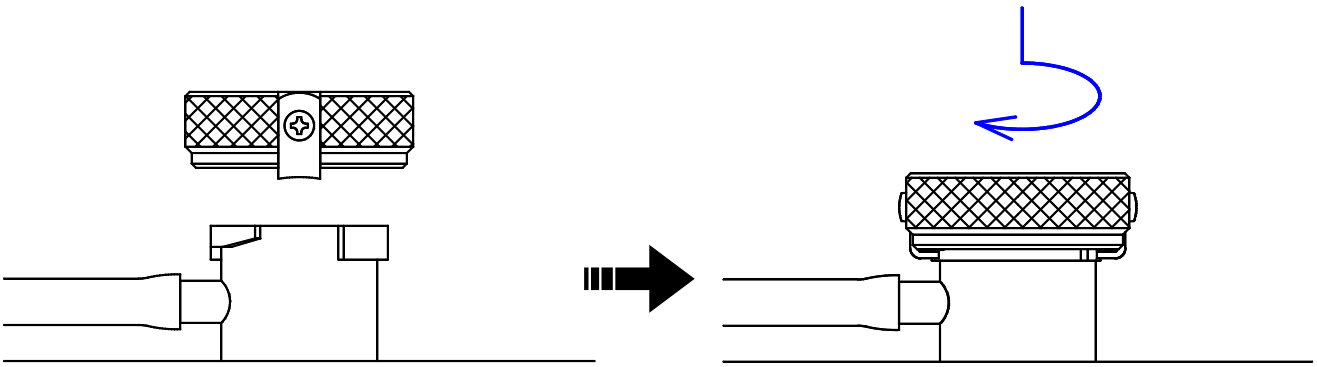
〈イラスト：3〉



〈イラスト：4〉

③ ラジエーターの口径に合わせてセット内のいずれかの『ラジエーターキャップASSY』を取り付けます。〈イラスト：5・6参照〉

○キャップの適応表はご用意しておりません。○

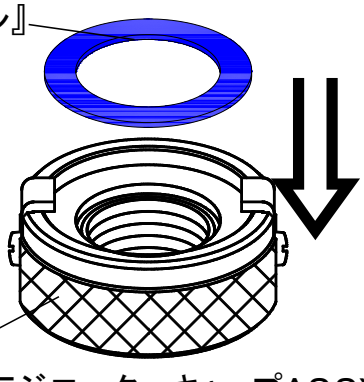


〈イラスト：5〉

〈イラスト：6〉

※ 一部車種で締め付けが若干緩い場合があります。
その際は『7．44Nラジエーターキャップ ASSY』をご使用下さい。
それでも緩い場合は『9．調整パッキン』を該当する『ラジエーターキャップASSY』のパッキンに重ねる様にセットしご使用下さい。〈イラスト：7・8参照〉

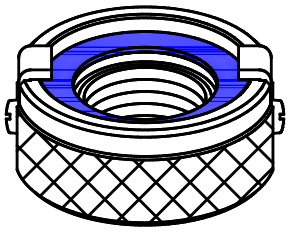
『9．調整パッキン』



『42・44ラジエーターキャップASSY』

〈イラスト：7〉

○ラジエーターに取り付けの際はパッキンの落下にご注意下さい。

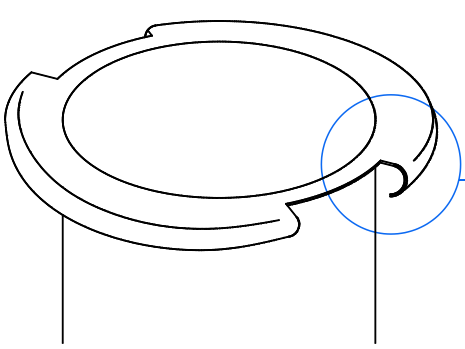


〈イラスト：8〉

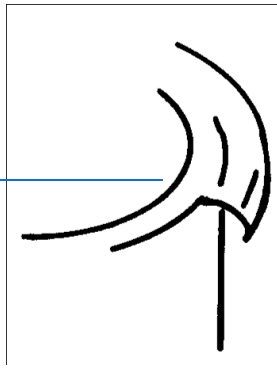
○もともとセットされているパッキンは外さずにご使用下さい

○逆に締め付けが固い場合は無理せず最後まで締めないで下さい。
ラジエーター若しくは本製品が破損する場合があります。

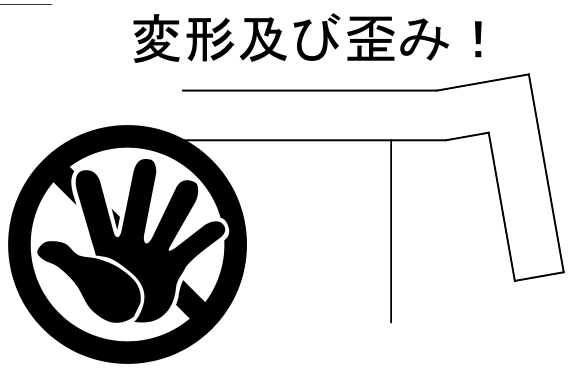
※ラジエーターの口径が金属で出来ている場合は、年数劣化により取付部が変形している場合がございます。
その場合はご使用になれませんのでご了承下さい。〈イラスト：9・10・11参照〉



〈イラスト：9〉



〈イラスト：10〉

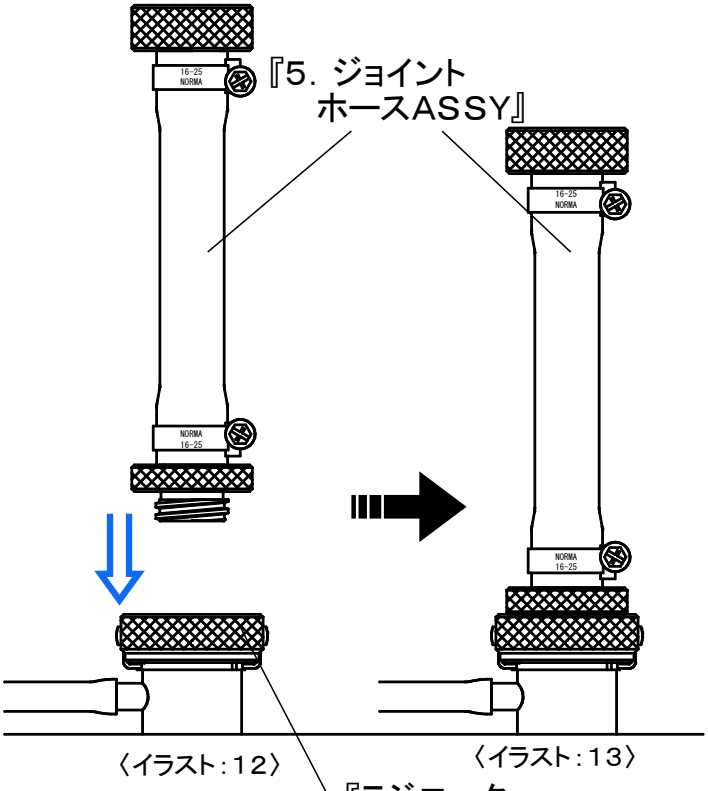


〈イラスト：11〉

⑤ ジョイントホース及びタンクを取り付けます。

～ジョイントホース使用する場合～

前項④で取り付けたキャップに『5．ジョイントホースASSY』を取り付けます。
〈イラスト：12・13参照〉

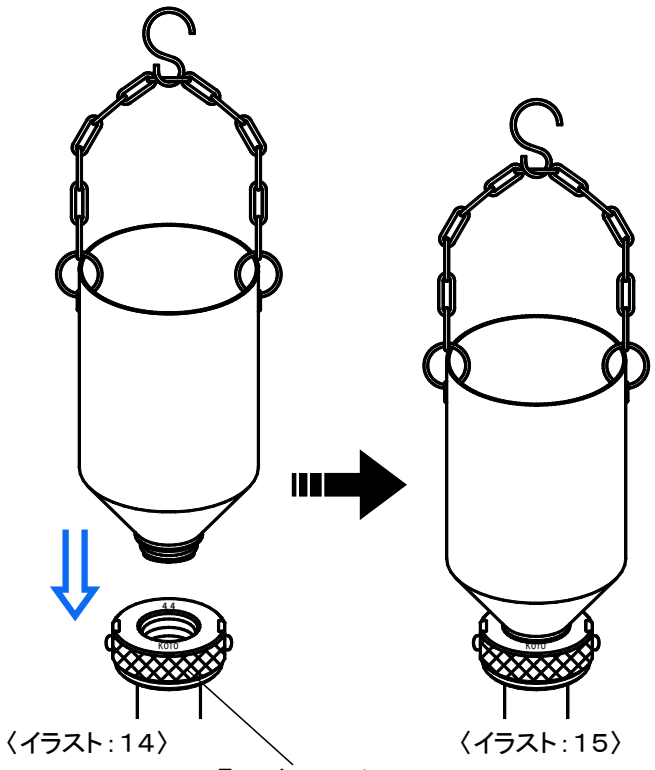


〈イラスト：12〉

〈イラスト：13〉

～タンクを直接使用する場合～

前項④で取り付けたキャップに『1．タンクASSY』を取り付けます。
〈イラスト：14・15参照〉



〈イラスト：14〉

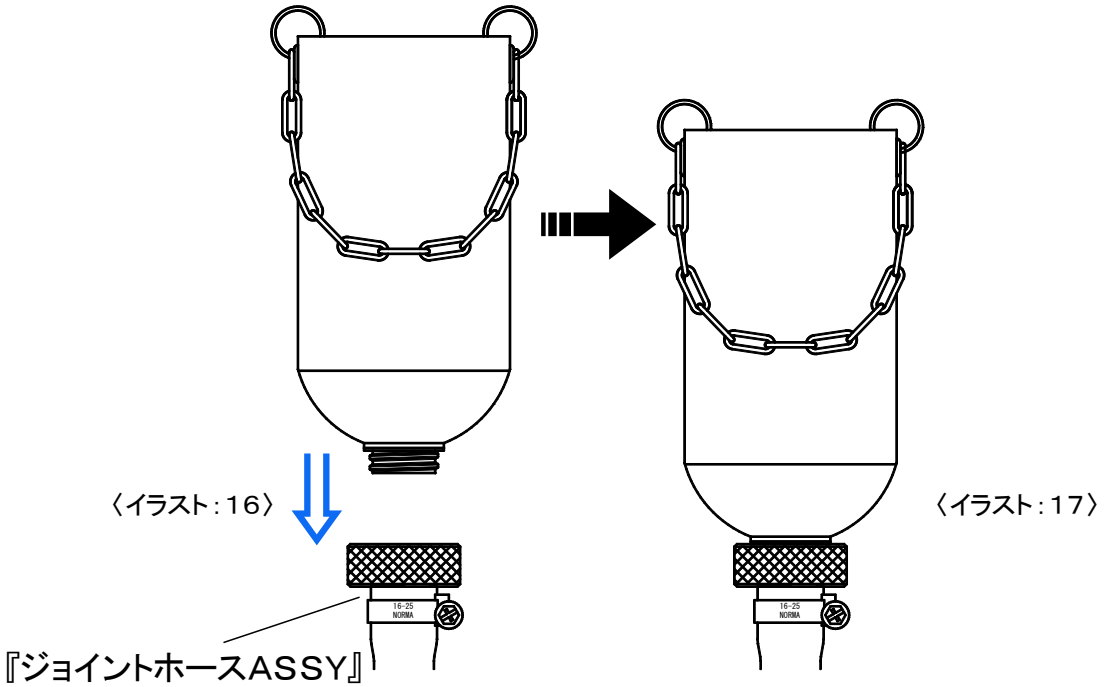
〈イラスト：15〉

P．5へ続く・・・

⑦へお進み下さい。

P．4『ジョイントホースを使用した場合』の続き・・・

P．4で取り付けたジョイントホースに『1．タンクASSY』を取り付けます。
〈イラスト：16・17参照〉



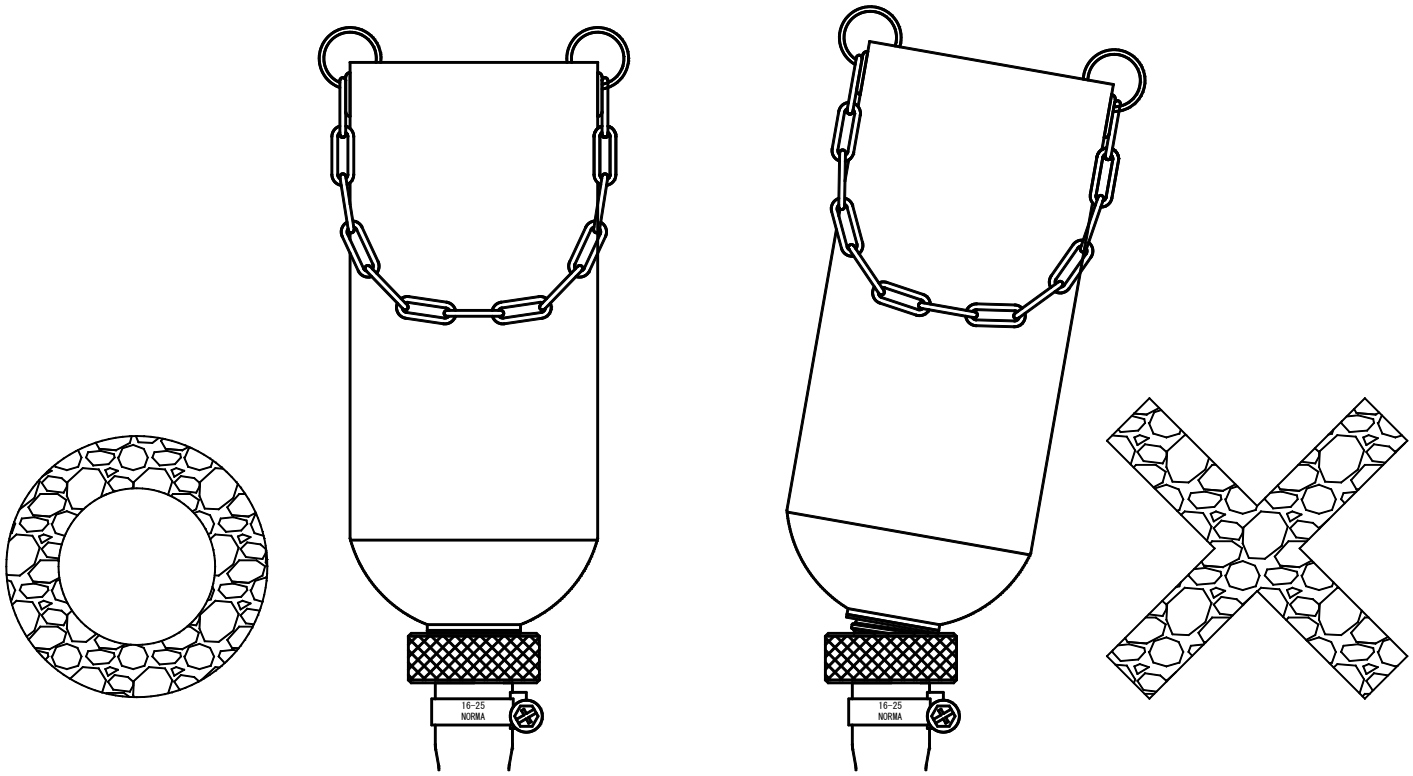
〈イラスト：16〉

『ジョイントホースASSY』

〈イラスト：17〉

○タンク及びジョイントホースのネジ部がラジエーターキャップに真っ直ぐに最後まで入っているか確認して下さい。〈イラスト：18・19参照〉

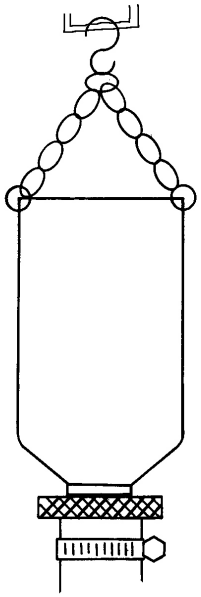
○ネジの途中で固くなった場合は1回緩め再度締め直して下さい。



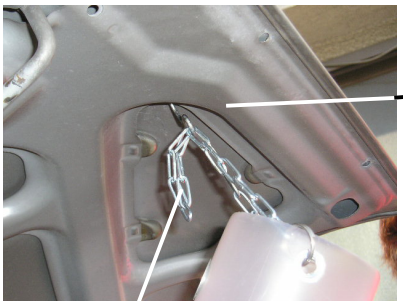
〈イラスト：18〉

〈イラスト：19〉

⑥『1-6. Sフック』を使用しチェーンをボンネット等の車体に掛けます。
〈イラスト：20及び写真：2参照〉



〈イラスト：20〉

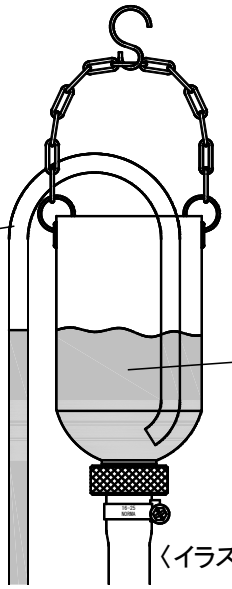


※塗装を傷つけない様に注意して取り付けて下さい。

〈写真：2〉

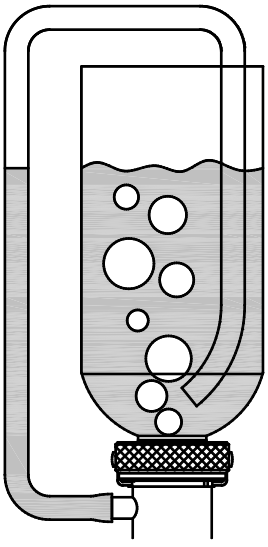
※チェーンが長い場合は二重掛けをして調整を行って下さい。

⑦ ②で取り付けたホースの反対側をタンクに入れ、水（蒸留水）若しくはラジエーター液をタンクの半分位まで入れます。〈イラスト：21参照〉

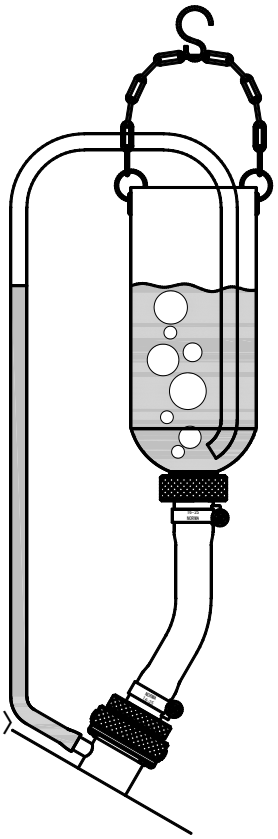


〈イラスト：21〉

⑧ 暖機運転を行いエアー抜きを行います。
〈イラスト：22・23参照〉



〈イラスト：22〉

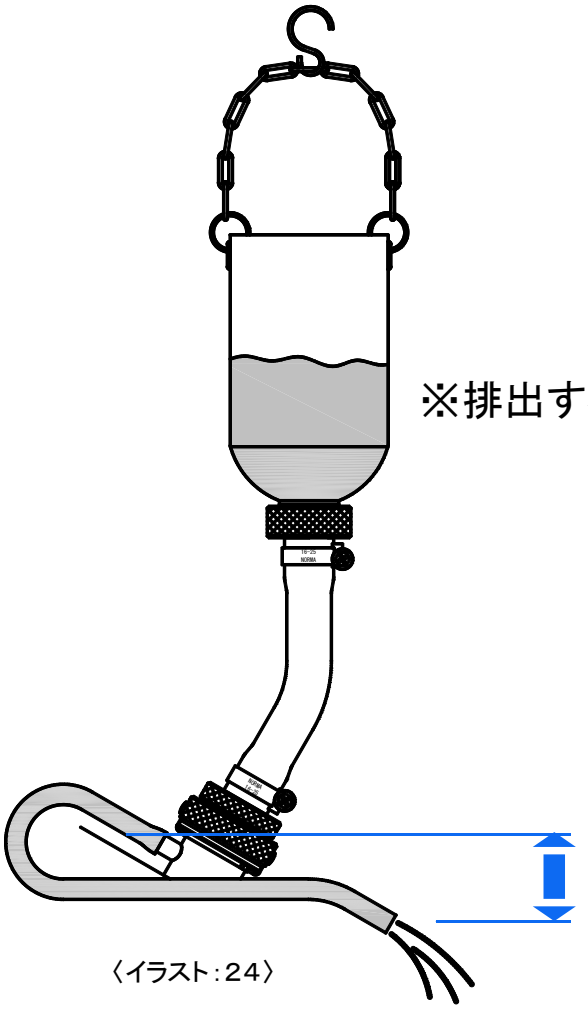


〈イラスト：23〉

⑨ 必ず空ふかしを行い、エアー抜きが完全に行われた事を確認して下さい。

⑩ 作業終了後、エンジンが冷めてラジエーター液の膨張が治まるのを待ちます。

⑪ タンク及びジョイントホース内に液が残っている場合は、タンクからホースを抜き口を下にして液を排出します。〈イラスト：24参照〉



※排出する際はバケツ等受け皿を用意して下さい。

タンクから抜いたホース口を取り付け位置より下にして、タンク及びジョイントホース内の液の抜き取りを行います。

〈イラスト：24〉

－注意事項－

○ホースから高温のラジエーター液が出る場合がありますのでヤケド等に注意して作業して下さい。

○ラジエーターキャップはラジエーター液の熱で高温になっている場合があります。完全に冷えるまで待つか、手袋・ウエス等を使用して取外して下さい。

○本製品は消耗品です。長期の使用により磨耗、変形、硬化等劣化いたします。使用できなくなりましたら新しい部品をお求め下さい。

○一部車種はエアー抜きが完全に行えない場合もございます。